

要介護認定情報等の提供依頼申出

資料 3 - 2

①提供依頼申出者

1 氏名	松田 晋哉 (まつだ しんや)
2 所属	学校法人産業医科大学 医学部 公衆衛生学 教授
3 提供依頼申出者の範囲	⑤大学
4 研究名称	介護サービス提供体制の地域差に関する研究
5 提供を依頼するデータ	サンプリングデータセット
6 研究期間	平成30年11月1日～平成31年10月31日
7 利用者数	申出者を含め (4 人) 外部委託: 無
8 申出実績	あり: 以下の研究に際してNDB データの提供を受けた レセプト等の大規模電子診療情報を活用した薬剤疫学研究を含む医療パフォーマンス評価に関する研究 (AMED 代表研究者 今村知明): 山口県の2014 年度レセプトデータ(医科・調剤)、利用期間: 平成27 年12 月～平成30 年3 月

②レセプト情報等の利用目的等

1 研究内容	<p>研究の内容: 介護領域におけるサービス提供体制の地域差を明らかにする。 利用目的: 地域別の標準化レセプト出現比(Standardized Claim data Ratio; SCR)を算出する。 利用する方法: サンプリングデータセットを用いる。 作成する資料等の内容: 以下の通り、保険者別に性・年齢階級別の人口構成を調整したSCR に関する資料を作成する。</p> $SCR = \frac{\sum \text{性} \cdot \text{年齢階級別レセプト実数}}{\sum \text{性} \cdot \text{年齢階級別レセプト期待数}} \times 100$ $= \frac{\sum \text{性} \cdot \text{年齢階級別レセプト数}}{\sum \text{性} \cdot \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の性} \cdot \text{年齢階級別レセプト出現率}}$
2 公共性	<p>高齢化の進展に伴い、要支援者及び要介護者の増加が見込まれている。厚生労働省がとりまとめた第7 期介護保険事業計画の全国集計では、要介護（要支援）認定者数が1.2倍以上に増加すると推計されている。また、サービス見込み量は、在宅介護は24%、居住系サービスは34%、介護施設は22%増加すると推計され、サービスの種類によって見込まれる増加割合には差があることが明らかとなっている。一方で、介護サービスを提供する人材の確保が困難となっている。厚生労働省がとりまとめた第7 期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づく介護人材の必要数は2025 年度末には245万人となっており、2025 年度末に55 万人の介護人材を新たに確保する必要があるとされている。需要の増加に対し介護サービスを効果的・効率的に提供するするためには、供給量の確保に加え介護資源の配置を最適化することが必要と考える。既に医療では、地域医療構想において、将来の需要に対し不足している機能を補う観点から医療提供体制の見直しが行われている。医療資源の配分を検討するにあたっては現状のサービス提供体制の可視化は不可欠であり、地域医療構想の策定にあたっては、ナショナル・レセプト・データベースが保有するレセプトデータを活用し、提供体制の地域差等の可視化が行われた。本研究では、介護領域における各地域別の提供体制について明らかにすることで、その配置の最適化に資する知見を得ることを目的とする。</p>
2 必要性	
2 緊急性	
3 過去の研究実績	<ol style="list-style-type: none"> Matsuda S. The health and social system for the aged in Japan. Aging Clin Exp Res. 2002;14(4):265-270. http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/12462371. Accessed May 25, 2018. Yano J, Ibayashi H, Nishiyama T, et al. [Functional improvement program of musculoskeletal system of the elderly in an isolated island of Kagoshima prefecture]. J UOEH. 2006;28(2):229-237. http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/16780231. Accessed May 25, 2018. Fujino Y, Tanaka R, Kubo T, Matsuda S. Taxation categories for long-term care insurance premiums and mortality among elderly Japanese: a cohort study. J Epidemiol. 2013;23(1):41-46. http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/23258217. Accessed May 25, 2018. Ibayashi H, Yano J, Minh PT, et al. [Effect of oral health care program on the oral function of the elderly]. J UOEH. 2006;28(4):411-420. http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/17209517. Accessed May 25, 2018. Fujino Y, Matsuda S. Prospective study of living arrangement by the ability to receive informal care and survival among Japanese elderly. Prev Med (Baltim). 2009;48(1):79-85. doi:10.1016/j.ypmed.2008.10.014. Hashimoto H, Horiguchi H, Matsuda S. Micro data analysis of medical and long-term care utilization among the elderly in Japan. Int J Environ Res Public Health. 2010;7(8):3022-3037. doi:10.3390/ijerph7083022. Ibayashi H, Fujino Y, Pham T-M, Matsuda S. Intervention study of exercise program for oral function in healthy elderly people. Tohoku J Exp Med. 2008;215(3):237-245. http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/18648184. Accessed May 25, 2018. 医療・介護のビッグデータ分析 訪問看護の種類別にみた利用者の特性分析,松田 晋哉(産業医科大学 医学部公衆衛生学教室), 藤本 賢治, 大谷 誠, 藤野 善久,社会保険旬報(1343-5728)2706号 Page12-16(2018.03) 医療・介護のビッグデータ分析 施設系介護サービス利用の時系列分析,松田 晋哉(産業医科大学 医学部 公衆衛生学教室), 藤本 賢治, 大谷 誠, 藤野 善久,社会保険旬報(1343-5728)2705号 Page16-21(2018.03) 医療・介護のビッグデータ分析 要介護度別にみた傷病構造の分析,松田 晋哉(産業医科大学 医学部公衆衛生学教室), 藤本 賢治, 大谷 誠, 藤野 善久,社会保険旬報(1343-5728)2704号 Page22-27(2018.03) 医療・介護のビッグデータ分析 医療・介護レセプト連結データを用いた脳梗塞患者の医療介護サービス利用状況の分析,松田 晋哉(産業医科大学 医学部公衆衛生学教室), 藤本 賢治, 大谷 誠, 藤野 善久,社会保険旬報(1343-5728)2703号 Page26-31(2018.02) 標準化レセプト出現比(Standardized Claim Ratio:SCR)を用いた我が国の在宅医療の現状分析,松田 晋哉 (産業医科大学 医学部公衆衛生学教室), 藤森 研司, 伏見 清秀, 石川 ベンジャミン光一, 池田 俊也,日本ヘルスサポート学会年報(2188-2924)3巻 Page1-10(2018.02)

③ 研究対象データについて

1	基本情報	提供データ	サンプリングデータセット（平成26年1月、平成27年1月、平成28年1月）
		《1》レセプトデータの抽出期間	
		《2》要介護認定情報の抽出期間	
		《3》台帳情報の抽出時点	
		年齢区分	
		その他	
2	事業所 番号	提供依頼	
		匿名化	
		抽出データの絞込み	
		絞込み条件	
		事業所番号を用いたデータ追加	
		事業所番号を用いて データ追加する場合の追加データ内容	
		上記データを求める理由	

③ 研究対象データについて（続き）

3	サービス 種類 コード	提供依頼	
		抽出データの絞込み	
		絞込み条件	
		その他	
4	サービス 項目 コード	提供依頼	
		抽出データの絞込み	
		絞込み条件	
		その他	
5	介護支援 専門員 番号	提供依頼	
		抽出データの絞込み	
		絞込み条件	
		その他	
6	合議体 番号	提供依頼	
		抽出データの絞込み	
		絞込み条件	
		その他	
7	抽出条件		<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> サンプルングデータセット申出のため、記載なし </div>
		集計表情報の場合	
8	抽出項目	介護レセプト	
		要介護認定情報	
		台帳情報	

④ セキュリティについて

1	場所	原本データの保管場所	<ul style="list-style-type: none"> ・データ等の保管場所は、産業医科大学公衆衛生学教室サーバ室とする。 ・公衆衛生学教室サーバ室は、ICカードによる入退室管理を行う。
		利用端末の設置場所	<ul style="list-style-type: none"> ・データ等の利用場所は、産業医科大学公衆衛生学教室サーバ室およびサーバ監視室とし、その他の場所での利用は行わない。
		入退室者	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生学教室サーバ室は、ICカードによる入退室管理を行う。 ・ICDカードは、事前の申請で許可されたものに発行する。 ・サーバ室の入口は監視カメラにより不正入室および盗難の防止を行う。
2	システム環境	外部ネットワーク接続	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータはインターネット等の外部ネットワークには接続してはならない。また、HD・CD-R等以外の記録媒体を接続してはならない。
		ウイルス対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・データ等の利用終了後には、情報システム内に記録されたデータ等を消去することに加え、消去後に当該機器を外部ネットワークに接続する際にはあらかじめコンピューターウイルス等の有害ソフトウェアが無いか検索し、ファイアウォールを導入するなど、安全対策に十分配慮すること。 ・原則としてデータ等を利用する情報システムには、適切に管理されていないメディアを接続しないこと。ただし、システム構築時等のやむをえず適切に管理されていないメディアを使用する場合には、外部からの情報受領時にはウイルス等の不正なソフトウェアが混入していないか確認すること。適切に管理されていないと考えられるメディアを利用する際には、十分な安全確認を実施し、細心の注意を払って利用すること。常時ウイルス等の不正なソフトウェアの混入を防ぐ適切な措置をとること。また、その対策の有効性・安全性の確認・維持を行うこと。
		端末のユーザー認証方法	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータには個人IDとパスワードを設定し、利用者等以外の者がアクセスできないこととし、パスワードについては、最低1年に一回変更を行わなければならない。システム管理者であっても、利用者のパスワードを推定できる手段を防止すること。類推しやすいパスワードを使用せず、英数字、記号を混在させた8文字以上とすること。
		ユーザー(ID)管理	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータには個人IDとパスワードを設定し、利用者等以外の者がアクセスできないこととし、パスワードについては、最低1年に一回変更を行わなければならない。
		窃視対策	<ul style="list-style-type: none"> ・サンプリングデータセット申出のため、窃視防止の対策の実施は対象外。
3	機器	情報機器の管理	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバ室は入退室管理する。 ・サーバ機器等は盗難および不正ログイン防止のため、全て鍵付きのサーバ用ラックに収納する。 ・クローズドネットワークで管理する。
		外部保存媒体の接続	<ul style="list-style-type: none"> ・HD・CD-R等以外の記録媒体を接続してはならない。 ・作成されるデータは、その内容・利用者・利用状況をデータで管理し常に参照できる状態にすること。またHD・CD-R等に記録した場合は、紛失を防止するため、利用後は必ず、鍵付きの棚に保管すること。 ・HD・CD-R等には盗難対策としてパスワードを設定すること。設定にあたっては推定しやすいパスワード等の利用を避け、定期的にパスワードを変更する等の措置を行うこと。 ・公衆衛生学教室・教室内のコンピュータ端末並びに中間生成物の印刷帳票及びHD・CD-R等を保管する専用棚の状態は管理者が2週に一度目視で確認する。なお、ハードディスクの所在については日次で確認することとする。
		機器運用状況の記録	<ul style="list-style-type: none"> ・データ等の利用期間中に、コンピュータの保守を行う場合には、保守を行う者と保守契約を締結し、機密保持の義務を課すこと。また、保守はオンサイトで行うこととし、公衆衛生学教室サーバ室内で行われなければならない。 ・原則として、コンピュータの保守の場合は管理者が保守作業に立ち会うこと。 ・コンピュータへのアクセスログは、データ等の利用期間終了後、1年間保存すること。
4	運用	入退室管理	<ul style="list-style-type: none"> ・サンプリングデータセット申出のため、要介護認定情報等の物理的保存を行っている区画への入退室管理の実施は対象外。
		帳票管理(紙媒体)	<ul style="list-style-type: none"> ・保管する専用棚の状態を管理者が2週に1度目視で確認する。 ・シュレッダーにより裁断した上で廃棄する。
		データの外部持ち出し	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生学教室サーバ室内のコンピュータ端末からは、HD・CD-R等を除きデータを持ち出ししてはならない。なお、HD・CD-R等にはパスワードを設定し、移送前に厚生労働省と産業医科大学で相互確認を行う。また、使用後のHD・CD-R等内のデータは初期化し、2週間に1度その管理状況について確認し、データの初期化の状況等を台帳に記録する。 ・データ等の持ち出しについて個人保有の情報機器を使用しない。
		外部からの問い合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・データ等の利用にあたっては、国民の理解を得ることが重要であるため、当該利用について外部から問い合わせがあった場合には、原則として管理者が対応することとする。 ・厚生労働省から、利用状況についてデータ等の利用規約に定める管理状況報告書の提出を求められた場合には、速やかに当該規程に従った監査を行い、その結果を厚生労働省へ報告する。
5	自己点検	自己点検実施者	<ul style="list-style-type: none"> ・運用が適切に行われているか確認することを目的として、「厚生労働省から提供を受けたデータの利用に当たっての内部監査規程」を定める。 ・公衆衛生学教室講座代表者(教授・松田晋哉)が、本規程の定める点検を行うこととし、情報システム企画課長がその実施に立ち会うこととする。
		自己点検頻度	必要に応じて随時実施
6	外部委託	委託先	(なし)
		委託理由	委託人数(人)
7	その他	<ul style="list-style-type: none"> ■教室の運用管理規定において、保守を行う者と守秘義務契約を締結することとしている ■教室の運用管理規定において、データの返還・破棄について定めている 	

⑤ 公表方式・内容について

1	公表方式	<input type="checkbox"/> 論文 ・公表の方法： ・予定時期： 年 月
		<input checked="" type="checkbox"/> 報告書 ・公表の方法：冊子 ・予定時期：31年3月
		<input type="checkbox"/> 学会・研究会等での公表 ・学会・研究会等の名称： ・予定時期： 年 月
		<input type="checkbox"/> 学会誌等に掲載 ・学会誌等の名称： ・予定時期： 年 月
		<input type="checkbox"/> その他 ・具体的な公表方法： ・予定時期： 年 月
2	公表内容	二次医療圏別のSCR算出結果を公表する。

⑤ 公表イメージについて（特別抽出）

（公表イメージ案）※抜粋

サンプリングデータセット申出のため、記載なし

⑥ 申出者が準備するマスタ

サンプリングデータセット申出のため、記載なし